

発刊にあたって

皆様には、日頃から一般社団法人 漁港漁場新技術研究会の活動につきまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

私共、自然との共生研究部会（異形ブロック専門部会）では、東日本大震災で被災した教訓から津波に対する構造強化の新工法である「防波堤の粘り強い構造」の設計に必要な「津波越流に対する防波堤腹付マウンド被覆ブロックの所要質量算定マニュアル」を平成26年9月に発刊し、皆様に活用いただいているところです。

近年、地球規模の異常気象が恒常化する傾向にあり、国民の命と暮らしを守る国土強化を図る防災・減災対策の強化が緊急の課題となっております。

異形ブロックは、波浪減衰ならびに津波越流に対する洗掘防止効果を有しており、漁港・漁場等の構造物の安定に大きく寄与し、防災・減災対策に優れているものと考えております。

こうした状況を踏まえ、この度、2015年版「漁港・漁場の施設的设计参考図書」等に示された設計体系の性能規定化に基づき、異形ブロックに関連する具体的な設計計算を解りやすく取りまとめた「異形ブロックを用いた漁港漁場施設等の設計計算例集」を水産庁並びに（国立研究開発法人水産研究・教育機構）水産工学研究所の技術的助言をいただき発刊することといたしました。

本設計計算例集の編纂にあたっては、施工例の多い標準的な構造形式の計算手法等を用いて計算例を示し、多くの方々にご理解頂けるよう取りまとめました。

今後の漁港・漁場施設等の設計計算にあたり、本設計計算例集を十分ご理解いただき、防災・減災対策として有効且つ積極的に活用されることを切にお願いする次第であります。

平成30年12月

一般社団法人 漁港漁場新技術研究会
自然との共生研究部会
(異形ブロック専門部会)